

お客様各位



平素は格別のお引き立てを賜り、心より厚く御礼申し上げます。

日増しに秋も深まり朝夕は肌寒く感じますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて今回は、CV型 維持管理のポイント Vol.1 についてご案内いたします。

これからも製品の品質とサービスの向上に努めて参る所存ですので、今後ともご指導ご協力を賜ります様、何卒よろしくお願い申し上げます。

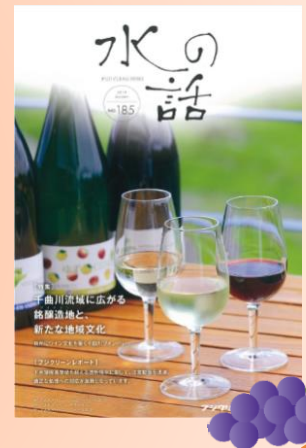
記

1. 今回の情報 : 「 CV型 維持管理のポイント Vol.1 」
2. トピックス : 「 『水の話 vol.185』 が発行されました! 」



『水の話 vol.185』 が発行されました!

乾いた土地から清水を汲み上げ、美しい果房をつくるブドウ。ワイン用ブドウの生産量日本一を誇る長野県は、ブドウ栽培に適した自然条件を備え、良質なワインづくりを行うワイナリーが数多く存在します。中でも千曲川沿いに広がる「千曲川ワインバレー」には、ワインづくりに情熱をもった人々が次々に集まっています。千曲川に沿って生まれた一大ワイン産地の歩みと、この地域で実ったワイン文化を紹介します。



最新のカatalog・維持管理要領書(Q&A含む)は弊社ホームページをご覧ください。また、研修会・工場見学などのご希望がございましたら、最寄りの弊社事業所までお問い合わせ下さい。なお、配信内容に関するお問い合わせ、ご要望、ご連絡先の変更(メールアドレスの追加含む)などございましたら、『フジクリーン通信』編集係までご連絡ください。

Eメールアドレス : eigyo_net@fujiclean.co.jp

HPアドレス : <https://www.fujiclean.co.jp/> FAX : 052-733-0238



以上
『フジクリーン通信』 編集係

2010年より毎月発行してまいりました「フジクリーン通信」が、おかげさまで100号を迎えることができました。今後も皆さまのお役にたてる読み物を目指していきます。これからも「フジクリーン通信」をよろしくお願いいたします。



CV型 維持管理のポイント Vol.1

<はじめに>

弊社では、2019年3月にCV型35～50人槽、同年9月にCV型14～30人槽を発売しました。CV型は“全高浅型”でありつつも、“シンプルな構造”を実現しており、この二つの特徴によって、高い施工性と維持管理性を兼ね備えた浄化槽となっております。今回はそのような特徴を持つCV型の維持管理におけるポイントを数回に分けてご紹介していきます。CV型の保守点検の参考にいただければ幸いです。

■CV型の主な点検作業一覧

	点検作業と判断基準
ばっ気状況	接触ろ床槽;気泡が左右均等に上がっていること
循環水量	循環水量の測定
汚泥移送水量	汚泥移送水量の測定
水質測定	透視度測定(処理水30cm以上)、DO測定(接触ろ床槽3mg/L以上)、pH測定(処理水5.8～8.6)、窒素簡易測定(処理水各態窒素合計20mg/L以下)
スカム厚	隔壁を乗り越えたり、またはその形跡が認められないこと
堆積汚泥厚	沈殿分離槽;80cm(14～21人槽)/90cm(25～35人槽)/100cm(40～50人槽)未満であること 嫌気ろ床槽;30cm(14～35人槽)/35cm(40～50人槽)未満であること 処理水槽;なきこと
消毒槽移流開口	汚泥や異物が付着していないこと

■CV型の主な保守作業一覧

	保守作業
逆洗と逆洗水の移送	接触ろ床槽の逆洗作業 循環エアリフトポンプによる逆洗水の移送 ばっ気バランスの調整
嫌気ろ床槽のガス抜き作業	嫌気ろ床内にガスが多量に溜まっている、または水位差が生じている場合にはガス抜き作業を行う
循環水量	循環水量の調整
汚泥移送水量	汚泥移送水量の調整
ブロウ	運転状況の確認、エアフィルターの掃除・交換

■維持管理要領書はホームページからダウンロードできます

<https://www.fujiclean.co.jp/material/index.html>

保守点検時のポイント①

(1) 処理水の採水場所

処理水槽から採水

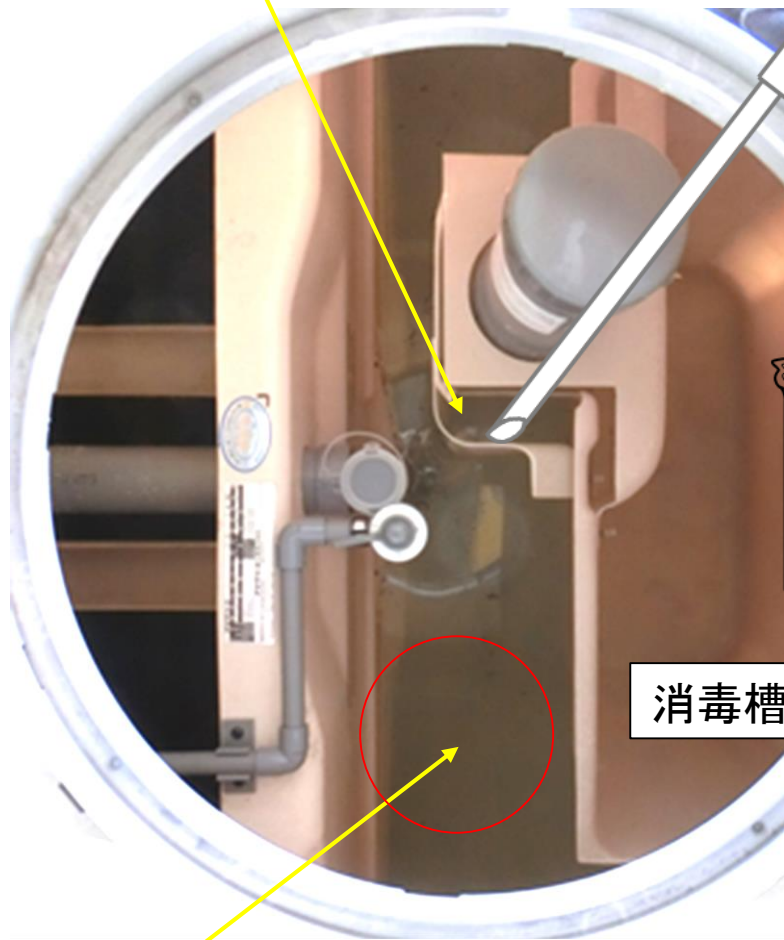
⇒生物膜やスカムを混入させないように小口径の採水器で採水してください



【処理水槽にスカムがある場合】

市販の灯油ポンプ等を用いて消毒槽スカムバツフル内から採水してください。

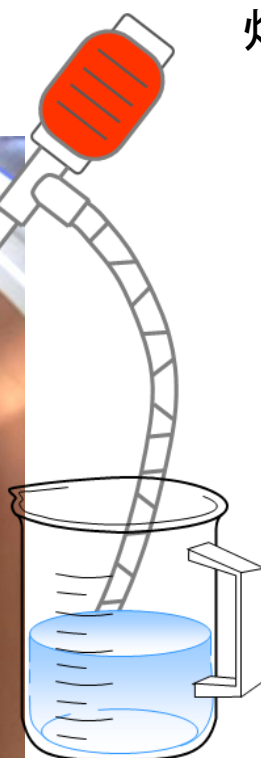
消毒槽スカムバツフル内



消毒槽

処理水槽(通常時の採水場所)

灯油ポンプ



ビーカー等


※バツフル壁面に付着した生物膜(SS)を吸わないように注意してください

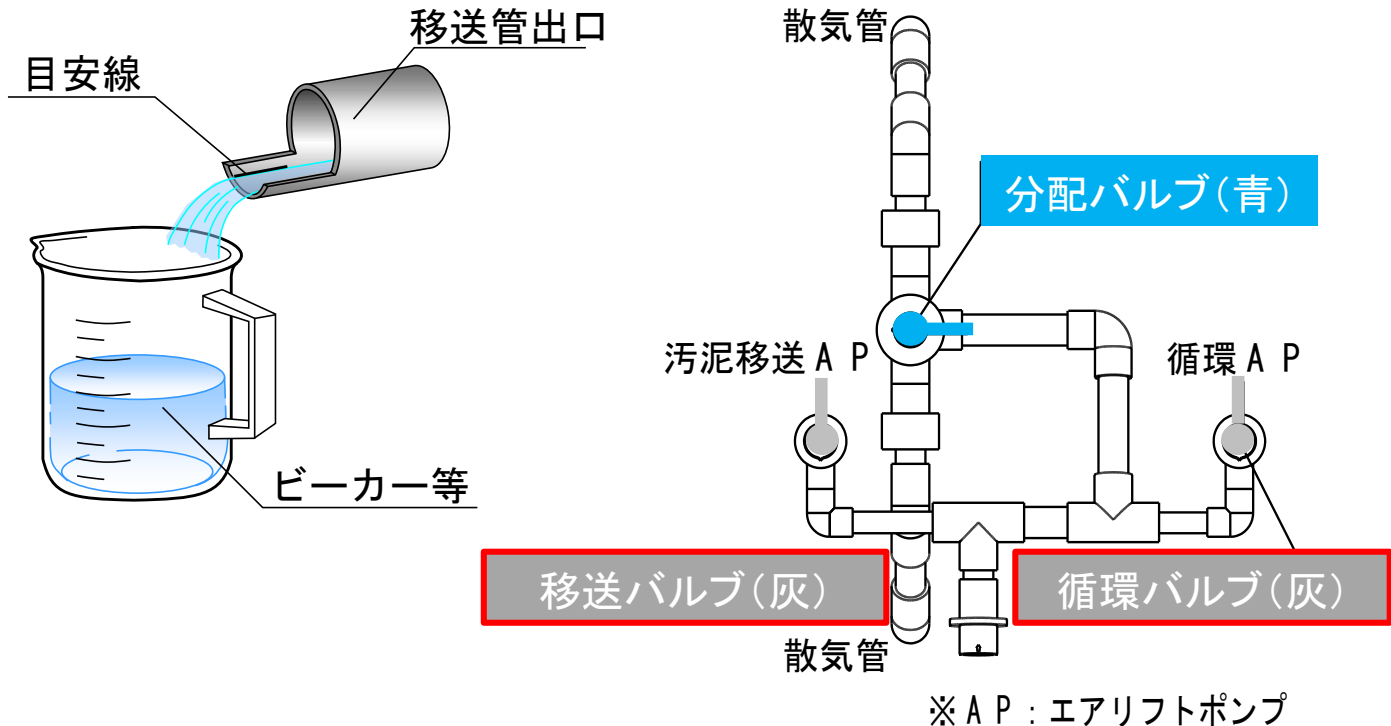
保守点検時のポイント②

(2) 循環・汚泥移送水量の測定と調整

点検毎に水量を測定

⇒ 処理水槽の水位がW.Lの時に水量が
2～4Qとなるようバルブで調整してください

 水位が高いときは、他の点検作業を先に実施してください。



循環/移送バルブの操作方法

- 水位がおおむね W.L であることを確認してください。
- 下表を参考に循環/移送バルブを調整してください。
- 循環/汚泥移送水量は、必ず移送管出口で実測してください。

【循環/汚泥移送水量の目安】

使用水量(m ³ /日)	7.0 以下	7.1～8.4	8.5 以上
実使用人員・人槽	35 人以下	36～42 人	43 人以上
循環水量 汚泥移送水量 (L/分)	15 (9.7～19)	18 (12～23)	21 (14～28)